

横浜市立大学から卒業生のみなさまへ

YCU 通信

2018
August
vol.6



創立 90 周年

特集ページ P.4-5

横浜市立大学卒業生担当

Facebook® ページ YCU.alumni

Facebook 横浜市立大学卒業生担当 検索

<https://www.facebook.com/YCU.alumni/>



LinkedIn®

横浜市立大学カレッジページ

LinkedIn 横浜市立大学 検索

<https://www.linkedin.com/edu/school?id=14421>



「学びが深化する」

専門性を深める3学部 開設予定

平成31年4月、国際教養学部、国際商学部、理学部へ。

平成17年の法人化とともに誕生した国際総合科学部では、文理融合型の教養教育をいち早く取り入れ、総合的な視点で課題解決力を養うことに注力してきました。その一方で、ますます複雑化、高度化する社会課題を解決するためには専門知識の深掘りが必要とされ、この傾向は今後も加速的に増していくと推測されます。学部再編の目的は、本学の強みである教養教育を土台にしながら、社会環境の変化に対峙できる専門性を深化させることです。

医学部と平成30年4月に新設したデータサイエンス学部に加え、国際総合科学部を国際教養学部、国際商学部、理学部の3学部 に再編することにより、5学部を備えた総合大学として時代の要請に応える教育体制を構築します。

再編のポイント

- ◆ 教養教育を土台とした専門性の深化
- ◆ 国際社会に対応するためのグローバル教育の強化
- ◆ 学部から大学院につながる体系的な学びの可視化



伝統ある浜大応援団の総会開催！

対抗戦や主要な行事で学生たちにエールを送り、大学を盛り上げ続けている応援団とチアリーダー部合同の総会が6月30日(土)に金沢八景キャンパスにて開催されました。大学と共に歩んできた応援団について、第67代団長の池上翔也さん(国際総合科学部・経営科学系・経済学コース4年)にお話を聞きました。



6月30日の総会にて



卒業式で演舞する池上さん

人々に元気や幸せを届ける

運動部は元より、入学式やオープンキャンパスなどの行事を中心に大学全体を応援する活動をチアリーダー部と共に行っています。また最近では横浜マラソンなどの地域イベントに加え、平昌五輪や東京五輪を盛り上げるライブサイトで演舞するなど新たな挑戦もしています。演舞を通じて頑張る活力や元気、楽しさなどを届け、人々の心に響かせることができたときに一番やりがいを感じます。

今でも熱い気持ちを持った偉大なる先輩方

創部から70年の歴史ある応援団ですが、「かもめのつばさ会」(OBOG会)では卒業後40年以上経った今でも顔を出して支援して下さる先輩方が多く、応援団に対する熱い気持ちは卒業後もずっと続くものだと感じます。選手のため、大学の発展のために日々練習に精進し、どんな環境でも全力で応援することが伝統です。先輩方から受け継いだ熱い心を後輩に繋ぎ、応援団や大学の更なる発展のために活かしていくことが現役団員である我々の使命であると思っています。



平昌五輪ライブサイトでの演舞

Welcome back to YCU!

卒業生による講義

6月4日(月)に日清オイリオグループ株式会社代表取締役会長の今村隆郎さん(昭和46年商学部卒)を総合講義(企業と会計)のゲスト講師としてお招きしました。

「未来志向の経営計画～構造改革と価値創造～」をテーマに経営計画策定のプロセスや今村さんが特に重視されている視点などをお話いただきました。



表紙の写真



正門からの風景

金沢八景キャンパスの象徴でもあるいちよう並木は、昭和23年に医学部の前身である横浜医科大学予科の学生たちが植えました。それから70年。天高く成長し、夏は青く、秋は黄色とキャンパスの四季の演出に欠かせない存在となっています。



特集 創立90周年

今年、横浜市立大学は前身である横浜市立横浜商業専門学校(1928年)から90周年を迎えます。そこで、本学の歴史的な節目を振り返ってみたいと思います。

1928 昭和3年 横浜商業専門学校(Y専)設立
 当時は専用の校舎はなく、南区南太田町の横浜商業学校(Y校現・横浜市立横浜商業高校)の本校舎3階を利用していました。

1944 昭和19年 横浜市立医学専門学校開校
 南区井土ヶ谷町にあった当時の校舎は直前までY専の校舎として使われていたものでした。

1949 昭和24年 横浜市立大学開設
 この年の2月に大学設置認可が下り、4月の入学試験を経て、6月1日に第1回入学式が行われました。創立記念日(6月1日)はこの日を起点としています。

1978 昭和53年 創立50周年
 1987(昭和62)年 浦舟町の医学部校舎

1988 昭和63年 創立60周年
 記念式典は、翌年(平成元年)に、完成したばかりの総合体育館で挙行。
 記念事業として60年史の発行や横浜市立大学学術教育振興財団設立のための募金活動が行われました。

2003 平成15年 創立75周年
 周年記念事業後援会を立ち上げ、様々な記念事業を展開。そのうちのひとつとして、卒業生の皆様からの寄附金等により「いちょうの館」が建設されました。館内は多目的ホールと展示スペースにもなるオープンな空間があり、学生、教職員だけでなく広く学外の方にも利用されています。

1941(昭和16)年の卒業アルバムより

1965(昭和40)年頃の金沢八景キャンパス

1954(昭和29)年制定の校歌

半世紀

2017(平成29)年 左の写真と比べると、小さかった銀杏の木が、正門から延びる道をすっかり覆うほど大きく育っていることが分かります。

2004(平成16)年竣工

いちょうの館のメモリアルプレート

90周年記念事業 学部・研究科別 シンポジウムのご案内

創立90周年を記念し、これまでの歴史を改めて振り返り、皆様とともに喜びを分かち合いながらさらなる発展を願うべく、11月3日(土・祝)に金沢八景キャンパスにて記念式典を行う予定です。そして9月には記念式典のプレイベントとして、学部・研究科別シンポジウムを開催します。卒業生や退職された教員の皆様、現役教員や学生が分野別に一堂に会し、横浜市立大学の発展に向け、周年事業を盛り上げてまいります。皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

商学部・国際総合科学部経営科学系 卒業生の集い

退職された4名の先生方に当時のゼミや講義の思い出を語っていただきます。また、2019年4月の学部再編により誕生する国際商学部についてご説明します。教員も多数参加する予定です。

- 日時** 9月1日(土) 14:00~15:00
※終了後、懇談会(2時間程度)を開催。卒業年ごとのテーブルを設けます。
- 会場** YCUスクエア Y404教室(定員300名) 懇親会 1階ピオニーホール
- 会費** 懇親会のみ当日1,500円(予定)を頂戴します。
- 申込方法** 懇親会は事前申込制(8月5日まで)

下記の問い合わせ先にE-mailで 1.氏名、2.卒業年、3.所属ゼミ をお知らせください。当日参加も大歓迎です。

問い合わせ先
卒業生の集い代表 大澤 正俊 osawa@yokohama-cu.ac.jp

理系OB会(大学院設置30周年記念会)

アカデミックや企業の研究所で活躍する市大卒業生を演者として迎え、現在の研究内容や卒業後のキャリアパスをお話しいただく研究会を開催します。終了後に懇親会を行います。

- 日時** 9月8日(土) 研究会 13:00~17:45 懇親会 18:00~20:30
 - 会場** YCUスクエア 研究会: Y204教室(定員300名) 懇親会: 1階ピオニーホール
 - 会費** 懇親会費(3,000円)を当日頂戴します。研究会は参加無料。
- 問い合わせ先 理系OB会事務局 rikeiob@yokohama-cu.ac.jp

「国際教養学部」誕生記念講演会

日本近代文学研究の山田俊治名誉教授による講演を行います。当日は「明治初期の言論を考える—福地源一郎と「文」学—」という題目で、生涯文章を書きつづけた福地源一郎の文章観を通して、明治初期の言論について講演していただきます。

- 日時** 9月27日(木) 16:10~17:40
 - 会場** カメリアホール(定員300名) 参加費無料 申込不要
- 問い合わせ先 長谷川 真里 marihase@yokohama-cu.ac.jp

90周年記念式典

- 日時** 11月3日(土) 10:00~12:00
- 場所** 金沢八景キャンパス

各イベントの詳細はこちら(大学Webサイト)をご覧ください。

横浜市立大学90周年





輝く卒業生

大学教員として活躍されているお二人に学生時代に熱中したことや仕事のやりがいを伺いました。

松尾 一郎さん

群馬大学大学院 理工学府分子科学部門 教授
平成2年 文理学部 化学科卒業
平成4年 総合理学研究科修了

いろいろなことに熱中した学生時代

有機化学の榊原研究室で先生や企業から派遣された研究生、同期、個性的な後輩達と過ごした日々。実験だけではなく、たく



運転練習で山中湖へ

さん楽しい遊びもしました。篠崎先生主催の横浜スタジアムで行う野球の試合に向けて、旧理科館の裏でかなり投げ込んだこともありました。また、熱中したこととして研究以外に車の運転があります。自動車部のガレージで車を改良・整備し、箱根や丹沢、ときどき三浦半島や逗子海岸、江ノ島辺りの海沿いでよく練習しました。

先生からの教え

「朝8時50分集合、遊んだ次の日は這ってでも研究室に行く」「くだらないことで信用を失うな、不義理をするな」先生からの教えの一つですが今でも大切にしています。それと、人との出会いを大切にすることも。学生時代に学会などで知り合った他大の方々を時を超えて同僚になったり、自分の研究室の学生が就職で偶然お世話になったりと、世の中は狭く、つながっていると実感しています。



研究室にて

0が1になる瞬間に立ち会える

卒業後、明治乳業株式会社に入社。その後、理化学研究所の研究員を経て2008年に群馬大学工学部応用化学・生物化学科の教授に就任し、現在に至ります。有機合成、生物工学、分子生物学、生化学などアプローチはいろいろですが一貫して「糖」をキーワードとした研究をしています。仕事のやりがいは、0が1になる瞬間に立ち会えることです。糖のことを全く知らない学生が糖の化学に触れ、新しい化合物を作り出すなど成長していく様を感じることが出来ます。また、世の中の役に立つものを作り出せることにもやりがいを感ずります。研究室で多くの学生とともに開発した化合物がカタログに載ったときは感激しました。



関本 奏子さん

横浜市立大学 学術院国際総合科学群 助教
平成17年 理学部 環境理学科卒業
平成19年 国際総合科学研究科 博士前期課程理学専攻修了
平成22年 同研究科 博士後期課程ナノ科学専攻修了

チアリーディングに没頭した学生時代

学部1～3年生の間はとにかくチアリーディングに没頭していました。3年生の時に部の主将を務めたことは今でも心に残っています。当時29人の部員がおり、「女子」の集まりだったため、私が男役で28人のガールフレンドを相手にしていた感じでした。チームをまとめることに苦労もしましたが、そこで培った経験が現在の私の原点になっています。チアリーディングを通して出会った同期・先輩・後輩は、今でも大切な友達です。



浜大祭での演舞

研究室生活にハマる

チアリーディングを引退した後にハマったものは研究室生活です。大学に入る前から発展途上で活動できる仕事に就きたいと考えていたので、高山先生に最初にお会いした時に「アフリカ人を教えたことがあるよ」という先生の言葉に惹かれ、質量分析学の高山研究室に入ることを即断しました。その当時はまだ「質量分析」という言葉すら知りませんでしたが、研究室の人間関係が家族のような雰囲気、研究にも楽しさを感じ、そのまま博士後期課程まで進学しました。卒業後は国立環境研究所のポスドクを経て、2011年から母校である横浜市立大学の助教に就任。2015年から2017年にかけて日本学術振興会の制度を利用して米国立海洋大気庁 地球システム調査研究所に研究留学しました。

誰も知らないことを発見する面白さ

現在の研究は学生時代から親しんでいる質量分析装置を使い、大気中に含まれる極微量の有機物や無機物を測定することです。これらの物質は、その地域の気候変動や環境に大きな影響を与えるため、私たちの日常に密接に関連しています。研究を通じて「誰も知らないことを発見すること」が最大の面白さであり、色々な人とつながり、友情が芽生えていくことに魅力とやりがいを感ずっています。

同窓会開催情報

平成29年から30年にかけて各地で開催された同窓会のうち一部をご紹介します。

自動車部OB会
11月4日 金沢八景キャンパス

市大税務・会計専門家の集い
12月10日 横浜

昭和39年卒業生(39会)
4月25日 金沢八景キャンパス

陸上競技部OB会(鷗走会) 総会
5月12日 金沢八景キャンパス



昭和37年卒業の商学部田島ゼミ
6月15日 金沢八景キャンパス



横浜市立大学同窓会 鹿児島浜大会
7月27日 鹿児島市内

進交会地方支部で開催された同窓会(平成29年度)

4月22日 静岡県支部総会

7月8日 名古屋支部懇親会

11月11日 宮城支部例会
北陸支部総会
千葉県支部総会

11月18日 北海道支部例会

11月25日 近畿進交会の集い



オープンキャンパス・入試関連イベント

YCUでは夏から秋にかけてオープンキャンパスをはじめとする入試関連イベントを開催します。入試説明会、模擬授業、キャンパスツアーなど、豊富なプログラムをご用意しております。大学受験を控えたお子さん、お孫さんを連れてぜひお越しください。

●福浦キャンパス

8月25日(土) 医学部医学科 オープンキャンパス
8月26日(日) 医学部看護学科 オープンキャンパス

●鶴見キャンパス

9月1日(土) 一般公開(理研・市大共催)
*理学部・大学院生命医科学研究科の入試相談コーナーを設ける予定です。

●金沢八景キャンパス

(国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部)
11月3日(土)、4日(日)
浜大祭での大学説明会・相談会・模擬講義

●福浦キャンパス(医学部医学科、看護学科)

11月11日(日)
Yokohama Medical Festival での入試説明会

YCUサポート募金 ご支援のお礼とお願い

日頃より卒業生のみなさまにはご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年度*は総額43,098,895円(このうち卒業生のみなさまから353件、6,566,185円)の寄附金をいただきました。いただいた寄附金は大学の発展、学生支援のために有効に活用させていただきます。平成30年4月から経済的理由により修学が困難な学生を支援するため、新たに「YCU修学支援基金」の募集を開始しました。引き続き横浜市立大学の発展のため、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

*平成29年4月1日～平成30年3月31日

公立大学法人横浜市立大学 理事長 二見 良之
横浜市立大学 学長 窪田 吉信

New!



YCU修学支援基金 ※税額控除対象

経済的理由により修学が困難な学生を支援するための基金です。

授業料、入学料の免除 奨学金を支給 のために活用します。

本学への寄附は税制優遇 措置の対象になります。

所得税

寄附金が2,000円を超える場合は、その超えた金額が当該年の所得から控除されます。

寄附金額* - 2,000円 = 所得控除額

*総所得金額の40%を上限とします。

住民税 (県民税・市町村民税)

寄附をした翌年1月1日に神奈川県または横浜市にお住まいの方は、寄附の翌年の住民税が控除されます。

(寄附金額* - 2,000円) × 控除率** = 住民税控除額

*総所得金額の30%を上限とします。 **県民税はお住まいの自治体によって2~4%、市民税は8%です。横浜市の方は合わせて10%になります。

税額控除 ※「YCU修学支援基金」への寄附が対象

「YCU修学支援基金」へのご寄附については、税額控除の適用を受けることができます。確定申告の際に、上記「所得控除」と「税額控除」のいずれか一方の有利な制度を選択していただけます。この制度では寄附金額から2,000円引いた額に40%を乗じた額を所得税額から控除できます。税率に関係なく所得税額から直接控除されるため、多くの方にとって所得控除と比較して減税効果が大きくなります。

税額控除と所得税 控除の比較 (参考)

例えば、年収500万円の方が5万円を寄附した場合の控除額

所得税控除 ¥9,600

税額控除 ¥19,200

住所変更などは
こちらまで。

同窓会開催のお手伝い(キャンパスでの開催、
広報・大学広報資料の提供など。)も承ります。